

としょかん南アルプス

図書館さんぽ	p.1
知って便利情報③	p.2
星空を楽しむ本	p.3

南アルプス市立図書館通信 No.7 2008年12月1日発行 <http://lib.m-alps.ed.jp>

南アルプス市立図書館では「困ったときは図書館へ」をモットーに、地域の皆様の課題解決のための調査・研究を支援しています。調べたいことやわからないことがありましたら、レファレンスサービスをご利用ください。詳しくは『知って便利情報③』をご覧ください。

図書館さんぽ ~来て、見て、知って

橿形図書館

◇南アルプス市の資料の宝庫

滝沢川公園北側に構えるレンガ造りの建物、それが橿形生涯学習センターと併設の橿形図書館です。

中央館としての機能を持つ橿形図書館の魅力は、豊富な資料。その数は閲覧室と書庫を合わせて約12万冊にのぼります。中でも雑誌は142誌を取り揃え、種類の多さは県内でも有数です。また、ふるさと室には、旧橿形町出身の東京タワーの設計者内藤多仲氏の関連資料や、小笠原氏の資料をはじめ地域に関する資料を収集しています。書棚にずらりと並ぶ本の世界は、知的好奇心をくすぐり、満ち足りた想いをもたらしてくれることでしょう。

もう一つの魅力は、明るくゆったりとした広い空間です。新聞・雑誌コーナーや閲覧用に多くの座席を準備しています。また、2階には32席を有する学習室があります。静かな部屋を資格取得やキャリアアップのための学習等にご利用ください。



芦安分館

◇あなたの読書活動をサポートします

橿形図書館芦安分館は、富士山に次ぐ高峰北岳のふもと芦安地区の読書施設として平成15年7月15日健康管理センター内にオープンしました。雄大な山の四季折々の美しさを楽しむことができます。蔵書数は1800冊と少ないのですが、市内の図書館と同様の図書館ネットワークシステムにより、市内図書館の資料(22万冊)がご利用いただけます。週2日の開館日には、絵本の読み聞かせや紙芝居等のおはなし会を毎回行っています。お気軽にお出かけください。



知って便利情報③ レファレンスサービス

ホームページ <http://lib.m-alps.ed.jp>

レファレンスサービスとは、利用者みなさんがご覧になりたい資料や調べたい事柄、必要な情報を図書館が探すお手伝いをすることです。

日常生活の中で分からないこと、調べてみたいことがありましたら、どんな事柄でもお気軽にご相談ください。

なお、将来予測、法律相談、医療などお答えできないこともあります。そのときは、手ごかりとなる資料を探すお手伝いをします。

これまでにこんな質問が寄せられました。

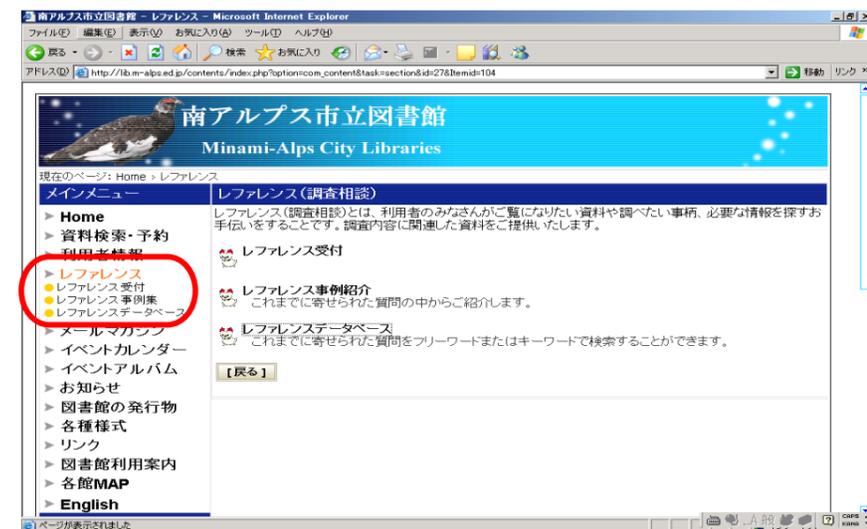
- 「夜叉神峠の名前の由来について知りたい」
- 「甲斐犬とはどんな犬なのか知りたい」
- 「南アルプス市で生まれた貴陽ってなに？」
- 「山寺八幡神社の神楽について」
- 「甲西地区の水害の歴史について知りたい。船があると聞いたが…」
- 「開国橋の名前の由来について知りたい」
- 「ボロ電について調べたい。関係として甲府ー諏沢間の違う路線も知りたい」
- 「甲州文庫について知りたい」
- 「浄土宗の僧侶であった、“明蓮顕誉”の読み方を知りたい」
- 「武田軍の名軍師と言われる山本勘助とは、実在の人物なのか」
- 「司馬遼太郎の小説に登場する斎藤一の墓の場所を知りたい」
- 「お仁義とはどういう意味か。山梨ではどういうときに使うのか知りたい」
- 「七夕に短冊に願いを書いてつるす風習の由来は何か知りたい」
- 「2千円札の裏に書かれている文章は紫式部の歌だと聞いたが、本当なのか調べたい」
- 「どうやって東京タワーと名付けられたのか。他の候補の名前も知りたい」
- 「オリンピックの五輪について知りたい」
- 「桃に付いているカイガラムシの防除について知りたい」
- 「さけるチーズを自分で作ってみたい。作り方がのっている本はあるのか」
- 「東南アジアの平均賃金を知りたい」
- 「ふろしきで丸いものを包む包み方を知りたい」

■回答は南アルプス市立図書館のホームページのレファレンス事例集で見ることができます。図書館内にあるパソコンでも見ることができます。このほかの事例も載っていますのでぜひご覧ください。

調べたいこと、わからないことがあったらご相談ください。

- 各図書館のカウンター
- 電話
- Eメール（ご利用方法は、図書館ホームページ内「レファレンス」ページをご覧ください）

<https://lib.m-alps.ed.jp/pubref/AcceptShow.do>



レファレンス Q&A

Q おしることぜんざいの違いについて知りたい。

A 関東では、すする程度のこしあん仕立てがしるこ、つぶしあんの入ったものは田舎しるこ、箸が立つほど濃いものはぜんざいという。また関西でも、こしあん仕立てはしるこ、こしあんのぜんざいと称する。つぶしあん仕立てのしるこに餅を入れたものを関西でぜんざい餅といい、略してぜんざいという。ぜんざいも、しるこも同類の甘味だが、歴史はぜんざいのほうが古い。

ぜんざいのいわれは、これを初めて食した一休禅師が、「善哉此汁」（ぜんざいこのしる）といったのに始まるとの説がある。しるこは、こしあんを水でゆるめたことから称されているが、ぜんざい餅の場合も原型はあん餅で、これを湯に溶いて汁状として食した。その際、汁の濃さを自在に調節したから自在餅とも解されている。

最近、星空を眺めたことはありますか？

一年で一番星がきれいに見えるこの時期に星空を眺めてみませんか？今回は、天体観測をより楽しめる本をご紹介します。

■ 「星のきほん」

駒井仁南子／著

星はなぜ光っているの？ 星座はどうやって決まったの？
流れ星ってどんな星？ 大きさ、星との距離、恒星と惑星、
彗星、誕生星座、星の一生など、星に関するさまざまな
疑問を取り上げ、図や写真を使いわかりやすく解説。



■ 「星座の事典」

沼澤茂美・脇屋奈々代／著

写真・イラスト等の見やすい図版を豊富に使い、春夏秋冬、
南天の星座と星座を彩るさまざまな天体、注目すべき天体を網羅し解説。
星空を楽しむワンポイント・ガイドと星空コラムも収録。



■ 「クリスマスの星 チロの星空カレンダー」

藤井旭／著

「星になったチロ」が紹介する子どもから大人まで、見て読んで楽しめる
スターウォッチング 12 か月。今回は冬・12月の星。ベツレヘムの星の正体をめぐる
7つの話、ぎょしゃ座の話など、12月の星空を楽しんでください。



図書館からのお願い



図書館の資料は市民の皆様の貴重な財産です。

- 汚損・破損がないように大切に取り扱いってください。
- 資料への書き込みや切り取り等は絶対にしないでください。
- もし破ってしまった場合は、セロハンテープなどを貼らず、図書館のカウンターまでご相談ください。

楡形図書館(055-280-3300) 楡形図書館芦安分館(055-282-7285) 白根桃源図書館(055-284-6010)

八田ふれあい図書館(055-285-5010) わかくさ図書館(055-283-1501) 甲西図書館(055-282-7291)